

令和6年7月22日
担当：(教)総務課 調整・DX推進係
堀越・堀井
電話：027-226-4527 (内線 4527)

群馬県教育ビジョン（第4期群馬県教育振興基本計画） に係る県教育長と校長の懇談会 実施報告

1 開催の趣旨

令和6年3月に策定した「群馬県教育ビジョン（第4期群馬県教育振興基本計画）」（以下、教育ビジョン）について、県教育長及び教育次長と各学校長が直接、意見交換を行うことにより、学校現場における教育ビジョン普及啓発及び理解促進を図ることを目的に開催した。

2 日程

(1) 小学校・中学校・義務教育学校（教育事務所ごとに実施）

日程	地区	対象	内容
5月10日	吾妻地区（吾妻郡）	全校長	意見交換
6月11日	東部地区（桐生市、太田市、館林市、みどり市、邑楽郡）	全校長	代表校長を交えたシンポジウム
6月19日	中部地区（前橋市、伊勢崎市、渋川市、佐波郡、北群馬郡）	各市町 代表校長	代表校長による実践発表 及び意見交換
6月25日	西部地区（高崎市、藤岡市、富岡市、安中市、多野郡、甘楽郡）	各市町村 代表校長	意見交換
7月4日	利根沼田地区（沼田市、利根郡）	全校長	意見交換

(2) 高等学校・中等教育学校・特別支援学校

日程	対象	内容
5月8日	高等学校長及び 中等教育学校長	代表校長・校長経験者等を交えたシンポジウム
6月5日		
6月10日	特別支援学校長	意見交換

3 実施概要

(1) 教育長及び教育次長講話

【概略】

- ・教育ビジョンに掲げる目標は、第3期群馬県教育振興基本計画の基本目標（たくましく生きる力を育む 一自らの可能性を高め、互いに認め合い、共に支え合う）と本質的に同じことを言っている。
- ・社会の変化に対応していくため、教育ビジョンでは、「人が誰しも生まれついて持っている、自分と社会をより良くしようと願う意志、原動力（エージェンシー）を発揮すること」や、「主体性をより一層育むこと」の重要性を強調している。

- ・各学校の児童生徒・教職員・地域の実情に応じて、できるところから、児童生徒が今まで以上に「自分で考え、自分で決めて、自分で行動に移す」ことができるような取組を進めていただきたい。
- ・児童生徒がエージェンシーを発揮できる学校にするためには、まず、教職員がエージェンシーを発揮できるようにすることが大切である。教職員が失敗を恐れずチャレンジでき、教職員自身が自分で考えて、自分で決めて、自分で行動できるような学校運営をお願いしたい。

(2) 意見交換・シンポジウム

- ・「エージェンシーを発揮している児童生徒の姿」、「学校として取り組んでいること、今後取り組みたいこと」、「取組を進めるに当たっての工夫や課題」等のテーマで各校長から発表するとともに、教育長、教育次長と意見交換を実施した。
- ・シンポジウムを実施した会場では、SAH (Student Agency Highschool) 等で先進的な取組を推進する高等学校長や、各地区の代表小・中学校長等がシンポジストとして登壇し、上記意見交換と同様のテーマで平田教育長とともに討論を実施。他の参加校長への取組の共有を図った。

【各校長からの意見等（一例）】

「エージェンシーを発揮する自律した学習者の育成に向けて、学校として取り組んでいること、今後取り組みたいこと」

○教職員の共通理解

- ・児童生徒がエージェンシーを発揮している姿を教職員間で共有し、日常の教育活動において意識化を図る。等

○特別活動の充実

- ・児童・生徒会活動、学級活動、委員会活動等において、今まで以上に児童生徒に任せ、児童生徒自身が考えて決定する機会を増やす。等

○「総合的な学習（探究）の時間」の充実

- ・児童生徒が課題意識をより喚起できるようなテーマの設定を工夫したり、地域や現代的な課題の解決に向けて自分事として主体的に取り組んだりできるようにするための単元構想の見直しを図る。等

○児童生徒が自ら主体的に課題を発見し、解決していく授業への転換

- ・児童生徒がめあてを明確にし、対話・交流や試行錯誤を通して、自ら考えを深め自己決定し、教科の見方や考え方を深められるような授業改善を校内全体で進める。等

○保護者や地域への周知

- ・学校全体で、児童生徒が自律できるような取組を今まで以上に進めていくことを周知し、家庭や地域の理解や協力を得ながら進めていく。等